

27年産米の生産数量目標 4割減反へ

鶴岡市農業振興協議会(会長・榎本政規市長)の臨時総会が4日、グラントエル・サンで開かれ、平成27年産米の生産調整の配分を決めました。

「自主的取組参考値」が国から示され、この達成に積極的に取り組むことが決められました。

△4・0%、温海△1・9%となり、減少率では藤島地域が大きく、4割減反となりました。27年産米の全国生産数量目標は前年比14万ト(1・8%)減の751万トで、自主的取組参考値では、目標比12万ト(1・6%)減の739万ト。

県内には1万4070ト(3・9%)減の34万4500ト、同510ト(1・6%)減の33万8990ト。うち鶴岡市には24万7ト(4・2%)減の5万5044ト、同

平成27年産米に係る地域別生産数量目標及び作付率(案)

	配分基準単収		生産数量目標(トン)			生産数量目標(トン)(均等分)			自主的取組参考値		
	台帳面積(ha)	(kg/10a)	面積換算(ha)	作付率(%)	面積換算(ha)	作付率(%)	面積換算(ha)	作付率(%)	面積換算(ha)	作付率(%)	
											③
鶴岡	6,051	600	21,817	3,636	60.0	21,183	3,531	58.3	21,468	3,578	59.1
藤島	3,390	606	12,607	2,080	61.3	12,108	1,998	58.9	12,405	2,047	60.3
羽黒	2,752	572	9,491	1,659	60.2	9,150	1,600	58.1	9,339	1,633	59.3
櫛引	1,782	589	6,278	1,066	59.8	6,085	1,033	57.9	6,178	1,049	58.8
朝日	905	551	2,972	539	59.5	2,891	525	58.0	2,924	531	58.6
温海	641	511	1,879	368	57.3	1,849	362	56.4	1,849	362	56.4
合計等	15,521	590	55,044	9,348	60.2	53,266	9,049	58.3	54,163	9,200	59.2

- ※1. 本表は、慣行栽培を基準に作成しているものであり、減収カウント面積を含みません。
- ※2. 県から示された換算面積9,530haと本表の換算面積の合計9,348haの差182haが減収カウント面積相当分となります。
- ※3. 率は小数点第2位切り捨てしています。
- ※4. 各地域の自主的取組参考値は、本協議会に示された54,163トンを各地域の生産数量目標のシェアで按分しています。

水稲作付率の調整状況(参考値) 2015.2.4市農業振興協議会

	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	全市
H23	65.5	68.6	64.4	63.5	64.1	55.4	65.3
H24	65.2	67.9	64.5	63.8	64.0	57.1	65.1
H25	65.6	67.8	65.0	64.4	64.6	59.1	65.5
H26	62.9	64.3	62.3	62.0	62.0	58.3	62.8
H27	60.0	61.3	60.2	59.8	59.5	57.3	60.2
H28	60.0	60.7	60.5	60.2	60.0	59.2	60.2

- ※1. 本表は、均等配分に係る作付率に傾斜配分を加味した作付率である。
- ※2. 現時点での試算値であり、将来の県からの配分状況等により数値は変動する。

大規模加算 2012.01.31鶴岡市農業振興協議会

区分	平野部	中山間部	加算割合(%)				
			H24	H25	H26	H27	H28
区分A	7~10ha	-	1	2	3	3	3
区分B	10~15ha	4~7ha	2	4	6	6	6
区分C	15~20ha	7~10ha	3	6	9	9	9
区分D	20ha~	10ha~	4	8	12	12	12

環境加算

加算割合(%)	1	2	3	5	5

産地交付金 転作作物への助成で

大規模加算は「JA等が選択した場合」とされ、JA庄内たがわが選択しています。

①大規模加算(JA選択) 3~12%
②環境加算(有機・特栽) 5%

一方、昨年新設された重点作物助成が拡充され、これまでの枝豆、そば、ねぎ・軟白ネギに14品目が追加されました(面積要件あり)。

①重点作物助成(園芸)では、
・枝豆(25kg以上)が2万2000円(同3万円)
・ねぎ・軟白ネギ(10kg以上)、トマト・サヤインゲン(5kg以上)が4万5000円、なす(5kg以上)・さといも・赤かぶ(10kg以上)が3万2000円
・花卉6品目(10kg以上)が4万5000円
・わらび・ぜんまい・行者にんにく(10kg以上)が3万2000円。

②重点作物助成(そば)では、10kgあたり3万2000円(前年2万円)
加算措置の見直しでは、
①団地加算が10kgあたり大豆1万5000円、枝豆1万円
②団地輪作加算は大豆に限定され1万円
③加工用米、飼料用米・米粉用米助成は10kgあたり1万円、備蓄米助成は3000円

24年産米から適用した配分方法は、(1)均等配分について、平成28年産米まで段階的に作付率を全市一律とする。

(2)傾斜配分は、

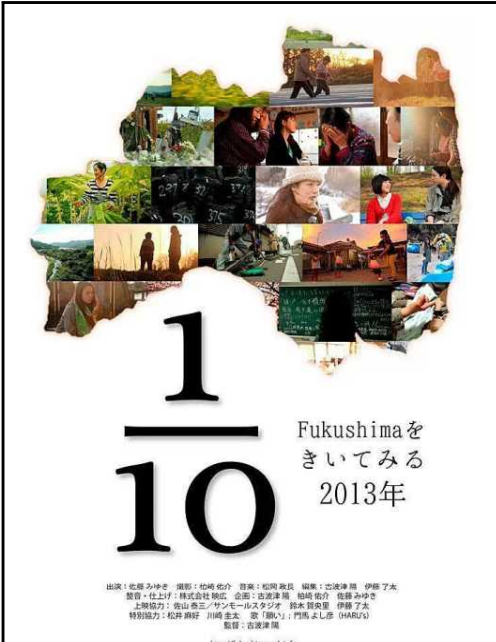
①基本助成を廃止(10kgあたり8000円、中山間1万8000円)
②振興作物助成を廃止(1万2000円)
③排水対策加算を廃止(そば1万5000円、大豆と枝豆・ねぎ等5000円)

減反強化と米価下落のイタチごっこで、これに安倍政権はTPPでアメリカ米の特別輸入枠を設けようとしており許せません。

一方、昨年新設された重点作物助成が拡充され、これまでの枝豆、そば、ねぎ・軟白ネギに14品目が追加されました(面積要件あり)。

881ト(1・6%)減の5万4163トが配分されました。鶴岡市の面積換算は目標値で405ト減の9530ト、自主的取組参考値で目標比153ト減の9377トとなつています。

「これまでの転作奨励的な活用から、...より産地形成に直結する活用方法に見直す」としました。



「1/10 Fukushimaをきいてみる」
上映会
 「1/10」とは、10年間撮り続けていくドキュメンタリー映画で、今回はその第一章。
期日：2月15日（日）10:00
場所：東田川文化記念館明治ホール
入場：無料

昔の遊びや昔の味を楽しみ、世代交流のために100人を超える子どもたちが参加

「ふじっ子の子の皆さん、お昼ごはん美味しいと思っただ子は拍手して下さい」「今日一日楽しかった子は拍手を」。共に大きな拍手でした。「美味しい食事も楽しかった一日も、お父さんお母さんと少し年の行ったお父さんお母さんにボランティアのお姉さん方のお陰ですから、ありがとうございますの拍手を送りましょう」

「それでは来年もやってもらいたいと思う子は拍手を」。当然大きな拍手でした。「わかりました。来年も開いてくれるよう実行委員の皆さん、よろしくお願ひしますヨ。これでふじっ子祭りの閉会とします。」というのが、2月7日に藤島地域活動センターで行われた第21回ふじっ子祭り、老人クラブ会長の石川勝雄さんが行った閉会の模様です。

腕の見せ所ですが、上手な子もいて、いつの間にか長くなった縄で縄飛びをしているところもありました。

次の1時間がチャレンジコーナーで、ペーパークラフト、木工クラフトなど6種。続いての1時間が遊び体験コーナーということで、コマ回し、けん玉、お手玉、あやとりなど、これも6種。

昔の小学生は冬になると農家の二ワという所で独楽ブツケをしたものですが、今の小学生には独楽は難しいようでしたが、何回かの挑戦で回り拍手をもら

風化が怖い！「1/10 Fukushimaを聞いてみる2013年」上映と自然エネ100%へ挑む福島

間もなく4年目の「3・11」。当地に避難し今は郷里南相馬に住むSさんは「風化が怖い」といつも手紙に書いてくる。

映画は、本紙右記のように、2月15日午前10時半から東田川文化記念館で上映（無料）。実行委員会代表の庄司

この祭りは全員が参加する縄ないに1時間



しんぶん赤旗2月8日付

う子もいて何かの自信につながれば。いよいよ昼食。味噌をつけた握り飯を菜っ葉で包んで焼いたベンケイメシにとん汁、フランクフルト、チヨコバナナ、コンニャク煮などで腹一杯に。

地域の応援団

昔の遊び・昔の味を楽しみ、世代交流のために100人を超える子どもたちが参加。主催者の挨拶をした野宮獎さんが会長を務める青少年育成協議会役員や婦人会、老人クラブ、生涯学習推進員、中高生のボランティア、畑指導者の会など地域の応援団も大勢の参加でした。

「11」。当地に避難し今は郷里南相馬に住むSさんは「風化が怖い」といつも手紙に書いてくる。

裕美子さんは藤島駅前出身（旧姓早坂）、身近に考えることの少ない福島の「今」を知ることと「本当の復興とは何か」を考えて欲しいと言っ。

しんぶん赤旗2月8日付「にちよう特番」。安倍政権は原発に固執し自然エネに冷たい。福島県は、逆流に負けず、2040年に県内需要を自然エネ100%へと「再生可能エネルギー」先駆けの地アクリンプラン」を20



積極的平和主義者の遠望か

湯川さん、後藤さんに合掌。安らかに…と祈っても舍利礼文などはないし、ネー。

▼最悪の終わり方になっってしまった。しかも、これからも日本人というだけで命が狙われるというのだ。積極的平和主義者は、テロに屈してはならないと言いつながら2人の命のため何をしたのだろうか。

▼政府の対応を、全ての情報を公表して検証するよう求められているが、あれも秘密、これも秘密、相手もあることだから何も出てこないことを懸念する。

▼早速今回のことをネタに自衛隊を出すことを言い出した。しかも距離は問題ではないと言っから、地球の裏側まで考えているのは彼の本性か。ハタマタ？▼消費税を引き上げ、

13年策定した。呼応する2団体、「会津電力」「具農民連」を紹介。前者は、原発事故で酒造りが脅かされた店主がリーダーで、23の太陽光発電設備で一般家庭約1000世帯分を発電、「エネルギーを供給する自立した地域経済を築く」と抱負を語る。後者は、「原発ゼロを言うため自分たちでつくる」と決意、会員世帯分にあたる目標にもうすぐ届くという。

赤字予算を組みながら、年金・生活保護を切り下げ、介護保険料を引き上げて介護を悪くして、且つ原発事故で故郷を追われた人、苦しい仮設住宅で亡くなる人が多いなか、中東へ2億ドルもくれる必要があるのか、だぜ。

▼しかも時期が悪いでショ。2人がアチラに捉えられていることは政府は知っていたんだし、そこへ乗り込んで被害に対して金を出すと言っただから、いわゆる有志連合…、つまりアメリカの仲間と見られてこうなったようだ。

▼言えばチャンスを与えたし言葉ジリを取られて金の要求だヨ。だからなぜその日、その場所だったのか、だ。▼積極的平和主義者が海外に自衛隊を出したのがための遠望だったのではないか。昔から国家的謀略は大事件がカランデいたからサ。ナンテネ。(石川)